

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！



パート・非常勤部会ニュース No. 13

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2008・7・2

—— 教務補助員・非常勤補助員350人のクビ切りゆるすな! ——

7・1決起集会を意気高く開催! 400名が参加



7月1日は大阪府議会開会日、午前中は障害者関係団体、昼には府民要求連絡会、午後5時から府立高校教職員決起集会、夜には労働者決起集会が開かれ、府庁包囲のデモなどが行われました。午後5時から行われた府立高校教職員の決起集会には、日高教の本部、近畿高等学校教職員組合連絡協議会、岡山、愛知、岐阜など大阪以外から20名が参加、パート・非常勤部会からも府高教臨時教職員を除き25名が参加をし、全体で約400名が参加をしました。

削るべきは 大型開発と 同和事業!

冒頭、府高教の筆保委員長は「校長など管理職が署名に協力し、多くのPTAが雇用存続の要請書を提出している。会派を超えて現在、府議会議員へ要請を行っており、何としても350人の雇用を守る」と挨拶。知事室や各会派などへの要請団を送り出して、日本共産党、社民党、日高教本部、大阪労連、府職労、パート・非常勤部会の連帯挨拶が続きました。

○ 日本共産党 今日、本会議が開かれ、知事は30分たらずの所信表明演説を行った。本当の赤字の原因にはふれず、府民に痛みをしいる内容だった。臨時教職員のみなさんがいたからこそ学校が保てた。みなさんがいなければ、辞めていた先生、生徒がいただろう。私学も公立学校もみんな大事な子どもたち。臨時教職員にお世話になった方々がついている。日本共産党はこれを重点課題として、本会議でも委員会でも頑張っていく。

○ 社民党 「橋下知事頑張っているやん」という声が多かったが、最近は耳を傾けてくれる人が増えている。人を雇った責任がある。府民は必ずわかってくれる。府民を味方に府民を信じて闘おう。

○ 府職労 府職員の人件費削減14.9%は懲戒処分以上。知事は「職員が痛みを蒙ってこそ府民に痛みがわかってもらえる」と言っている。府職員の痛みが大きければ大きいほど府民の痛みは大きくできる。非常勤の生活と権利を守ることを率先して進めて行くべき知事が、率先して首切り。6/23の交渉は決裂したが、労使交渉の再開を求め、7/14、22の包囲行動を成功させ、府民と共同してガンバル。

○ 大私教(パート・非常勤部会) 私立助成カットで自民・公明・民主に要請。断られるかと思ったが、文書を受け取り、5分ぐらい話を聞いてくれた。常勤講師は正規と全く同じ仕事をするが、1年に2回更新。評価が悪ければ更新されない。毎年涙をのむ人が出ている。私立助成のカットで授業料上げるか、賃金カットせざるを得なくなる。生徒数1000人を下る学校は存続も危ないのではないかと。

心にひびく 教務補助員や現場の先生 6名の決意表明 リレートーク

1%の望みあれば広げて行って運動すすめたい

初めて参加した人もいる。こんなに応援してくれていることを心強く思っている。48名の臨時教職員白書を完成させた。書かれている文章はどれも、「大阪の教育の一旦を担ってきた誇り、自信、生きがい、学校が好き、仕事が好き」で結んでいる。「弱者いじめではダメ」と教えなあかん人が、弱者をいじめている。私達がいなくなれば、先生も心労、過労が増えていく。

府民が知らないのは、知らせないから

生首切られることを実感している。PTA総会で許可を得て、署名を生徒におろした。800名の生徒を通じて1235筆、返ってきた。行政を市民に、教育を市民にもっと知らせよう。職員とPTAが取り組んでいて、地元の府会議員は聞いてくれる。

子どものため、教育のため、生活のためガンバル

家庭科の補助をしている。82歳の母親と、高校1年の娘がいる母子家庭。いきなり仕事なくなる話にどうしたらよいかわからなくなっていた。家庭科の先生が、職場集会を開いてくれて、どんな仕事をしているのか説明をし、職場決議をあげ、PTAに申し入れてくれた。PTAは「何でもっと早く来なかったのか」と言ってくれた。独自署名も作成。卒業生の子どもが署名に協力してくれ、2人の子どもは学校に寄って、署名を持ち帰り、してくれた。「子どものため、ガンバロウ」と思った。6月21日270名の集会で、ドキドキしながら訴えた。その場で241筆の署名が集り、訴えること大切と思った。

テストの時、臨職休めば、パニックに

管理職含め、全員署名に協力してくれた。街宣行動で府民にも訴えている。職場決議を上げ、PTA役員会、PTA会長に協力を申し入れた。「よくわかる。教育大切、協力できることさせていただく」と言ってくれた。今日の集会にも18名の分会員中、10名越える参加を得た。立場は非常勤でも、いるのが当たり前、普通の風景。

通知表返さない生徒が署名は返してくれ、複雑な気持ち

職場決議はしていた。6/13にPTAに申し入れたら、拍子抜けするぐらい簡単に署名に協力してくれた。各担任から生徒に配った。学校近くの住宅にビラを500枚まいた。ビラの配布を非組合員も協力してくれた。与党議員も「教育に切り込むのは、情けない」と言っている。

周りの人は誰も「辞めろ」と言っていない。言っているのは唯一人、橋下知事

PT案が出た時、「辞めよう」と思った。でも、辞めて喜ぶのは橋下さん。自分の人生の中でやっとなここが在るべき場所だと思った職場。大事にしてくれる人たちのため、残ってガンバロウと思った。



維新プログラム案のパブリックコメントを7/14まで受付。パブコメを送ろう!

府高教の志摩書記長が情勢報告し「宣伝行動で最初、つかかる人も多かったが、最近はずっと聞いてくれる人、『頑張れ』といってくれる人がいる」と述べ、最後に大教組の辻委員長は「何のためにやるのか、それは大阪を実験台にした道州制の実現にある。府民の力で抜本的に見直そう!」と結んだ。